

# 亀岡市子ども・子育て支援に関するニーズ調査 結果概要

## I 調査の概要

### 1 調査の種類と実施方法

本調査においては、対象者別に次の2種類のアンケート調査を実施しました。

調査の種類	調査の対象	調査期間	実施方法
就学前児童用	市内の就学前児童 (0～5歳)の保護者	令和6年 3月8日～ 3月22日	郵送により配布、紙 ベースでの回答ま たはWEB回答
小学生児童用	市内の小学生児童 (小学1～6年生)の保護者		

### 2 配布と回収状況

		配付数	有効回答数	有効回答率
就学前(保護者)	今回	1,000件	全体 439件 うち、紙 274件 うち、WEB 165件	43.9% 27.4% 16.5%
	前回	1,000件	428件	42.8%
小学生(保護者)	今回	1,000件	全体 422件 うち、紙 244件 うち、WEB 178件	42.2% 24.4% 17.8%
	前回	1,000件	447件	44.7%

### 3 調査結果の見方

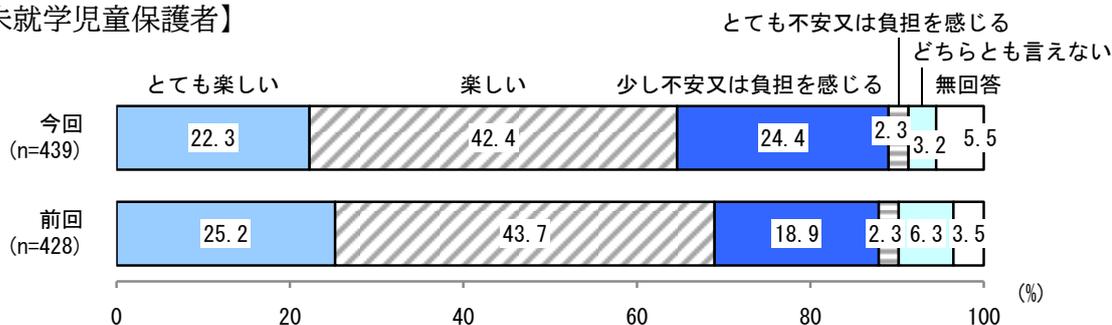
- 回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- 調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを、で網かけをしています。(網かけはn=30以上の結果のみとし、その他、無回答を除く。)
- グラフ内の凡例で前回とあるのは、平成31年1月に実施した「亀岡市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」、前々回は、平成25年12月に実施した「亀岡市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」のことです。また、本文中、前回調査、前々回調査とあるのも同様です。

## Ⅱ 調査結果

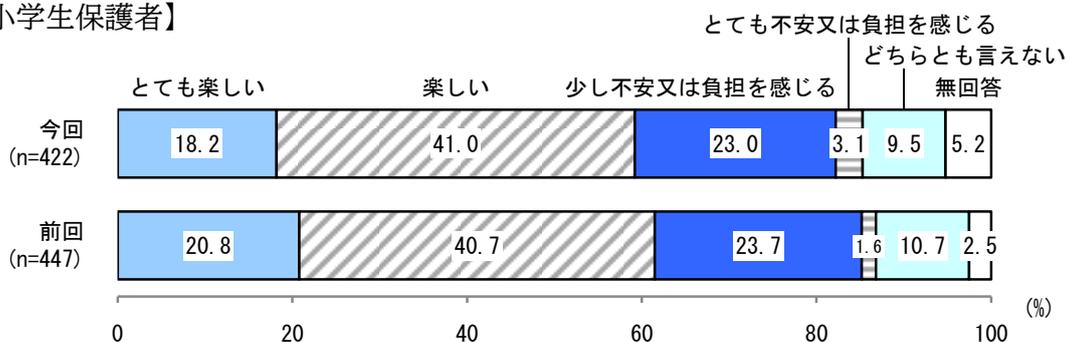
### 1 子育ての楽しさ

子育てに対する気持ちについては、未就学児童保護者・小学生保護者ともに、「とても楽しい」と「楽しい」をあわせた『楽しい』が大半を占めているものの、前回調査と比較すると、『不安・負担を感じる』がやや高くなっています。

#### 【未就学児童保護者】



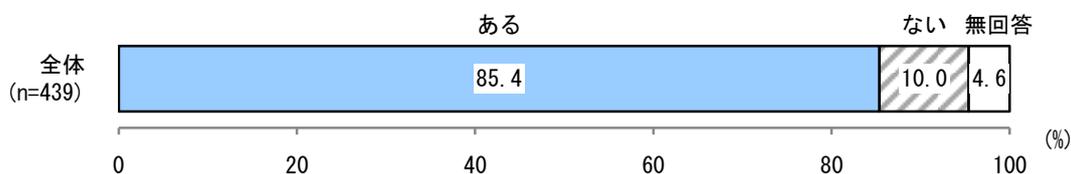
#### 【小学生保護者】



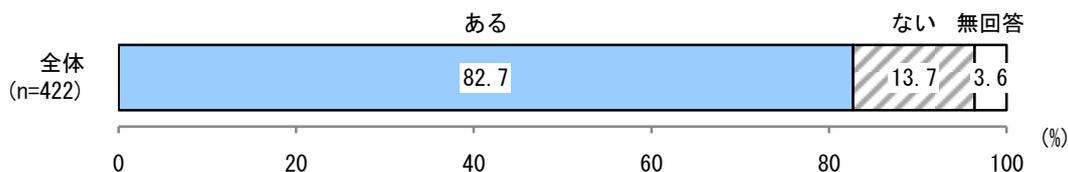
### 2 子育てをする上で気軽に相談できる場所の有無

子育てをする上で気軽に相談できる場所については、未就学児童保護者・小学生保護者ともに、「ある」が8割を超えているものの、「ない」がともに1割となっています。

#### 【未就学児童保護者】



#### 【小学生保護者】

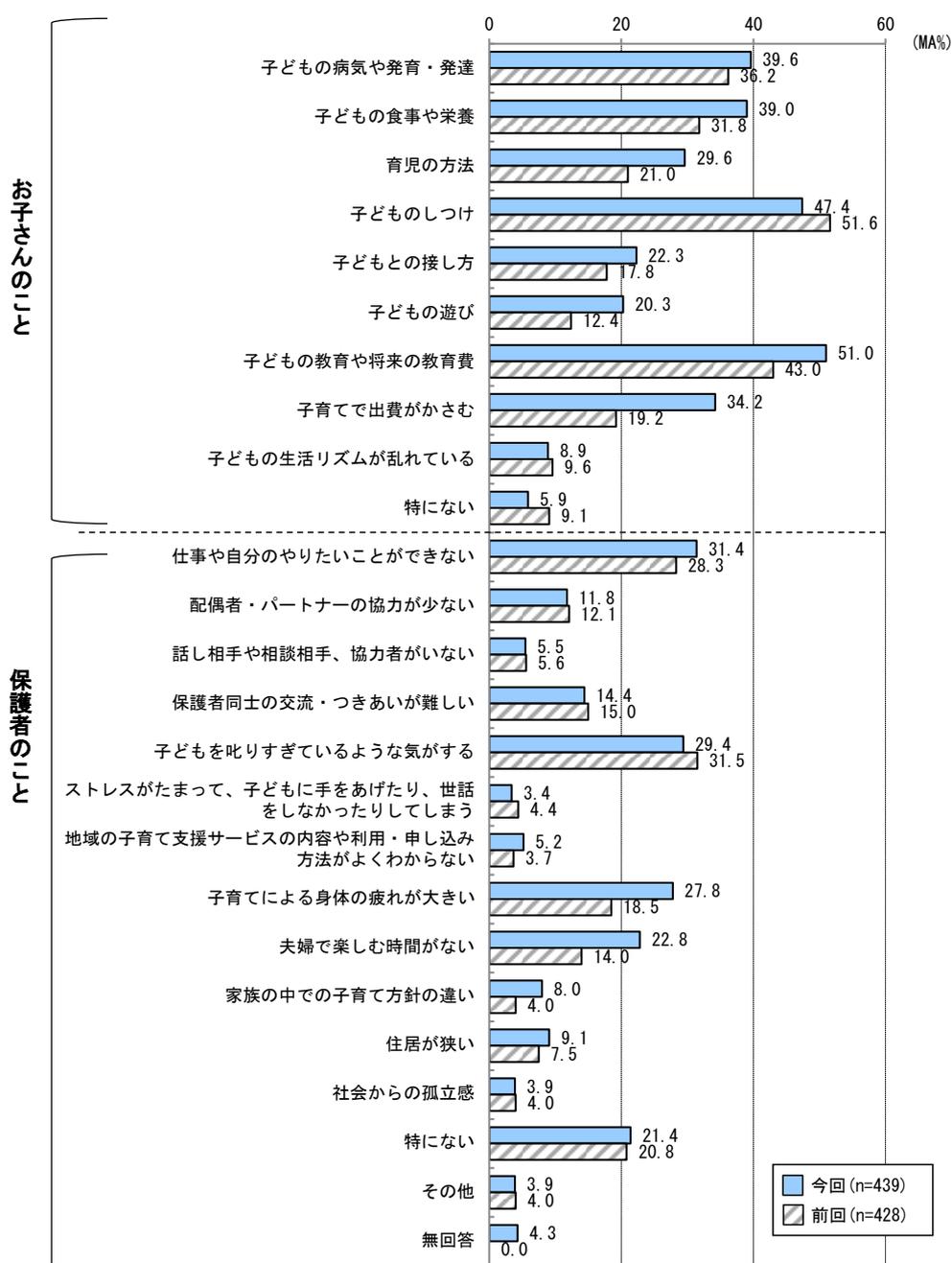


### 3 日頃悩んでいることや不安に感じること

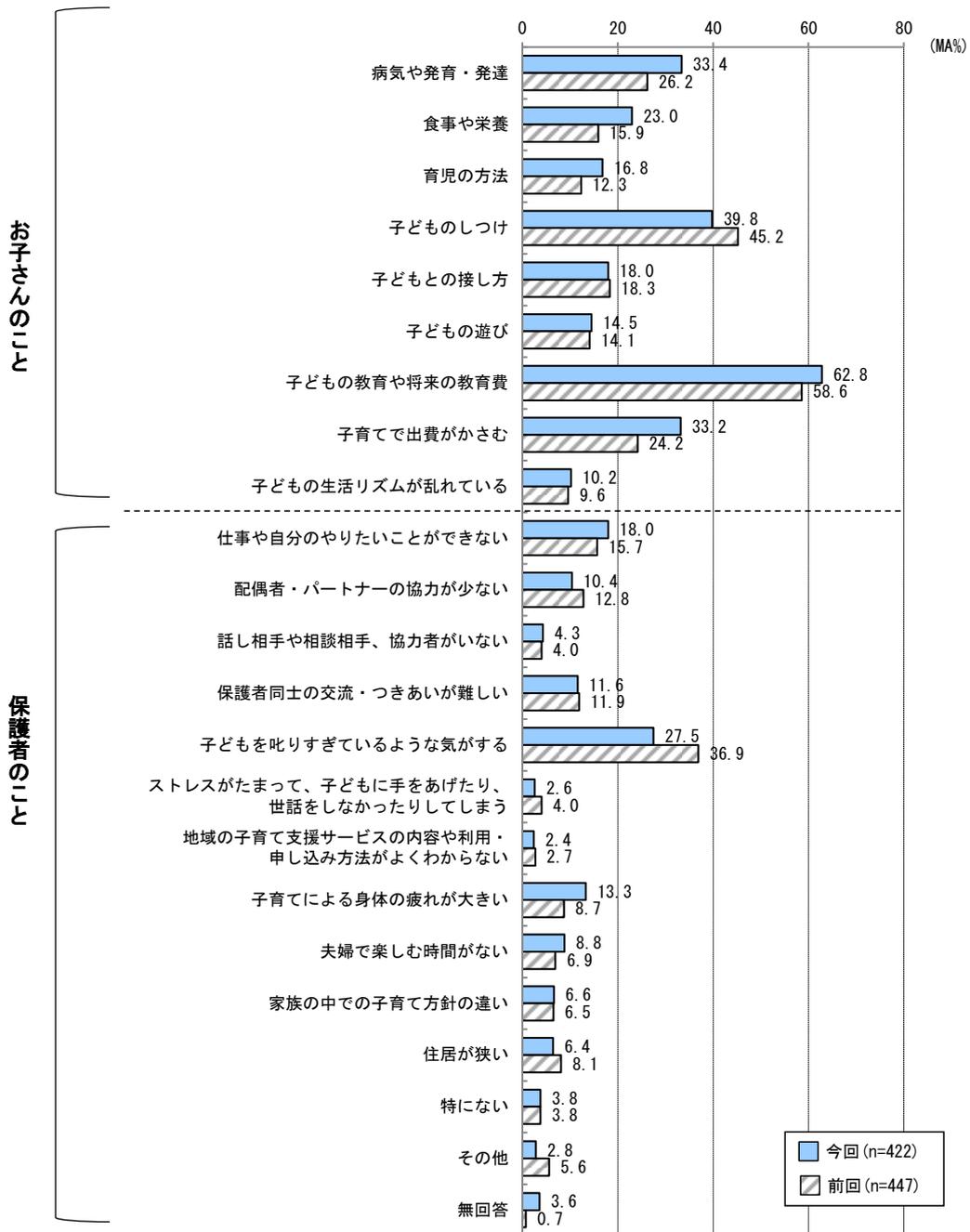
子育てで日頃悩んでいること、不安に感じることについては、未就学児童保護者・小学生保護者ともに、お子さんのことでは「子どもの教育や将来の教育費」が最も多く、次いで「子どものしつけ」となっています。前回調査と比較すると、未就学児童保護者・小学生保護者ともに、「子育てで出費がかさむ」が大幅に高くなっています。

保護者のことでは、未就学児童では「仕事や自分のやりたいことができない」、小学生児童では「子どもを叱りすぎているような気がする」が最も高くなっており、前回調査と比較すると、未就学児童保護者・小学生保護者ともに「子育てによる身体の疲れが大きい」が高くなっています。

【未就学児童保護者】



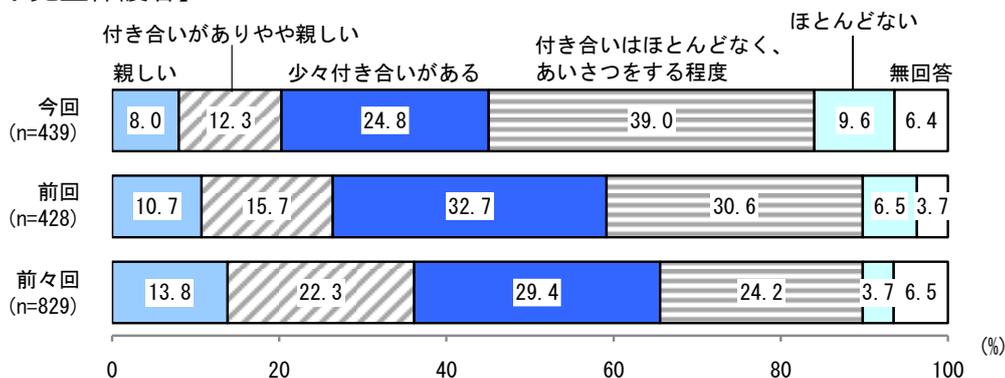
【小学生保護者】



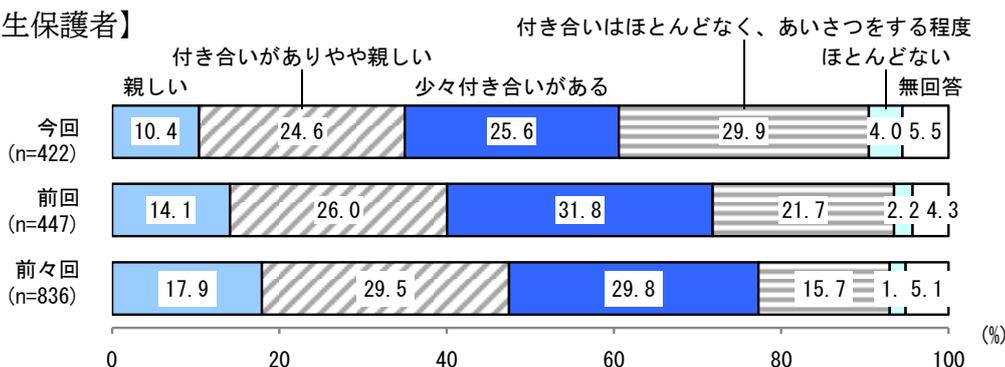
## 4 近所や地域の人々との付き合いの状況

ご近所や地域の人々との付き合いの程度については、未就学児童保護者・小学生保護者ともに、「親しい」、「付き合いがありやや親しい」、「少々付き合いがある」がいずれも低くなっており、年々付き合いが少なくなっている状況がみられます。

### 【未就学児童保護者】



### 【小学生保護者】

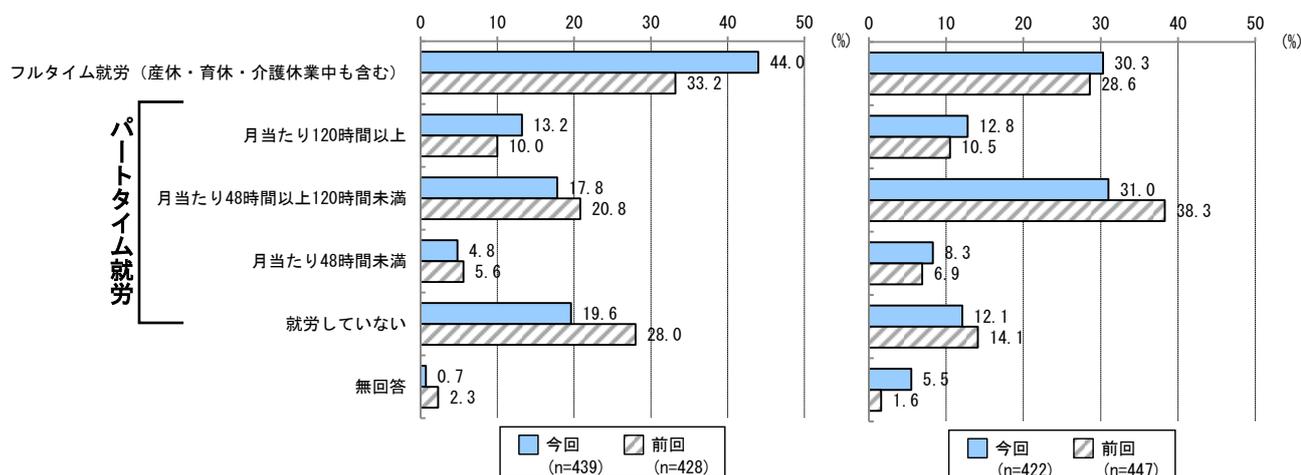


## 5 母親の就労状況

母親の就労状況については、未就学児童保護者・小学生保護者ともに、前回調査と比較すると、「フルタイム就労（産休・育休・介護休業中も含む）」や「月当たり120時間以上のパートタイム就労」が高くなっており、母親の就労率が高まっています。

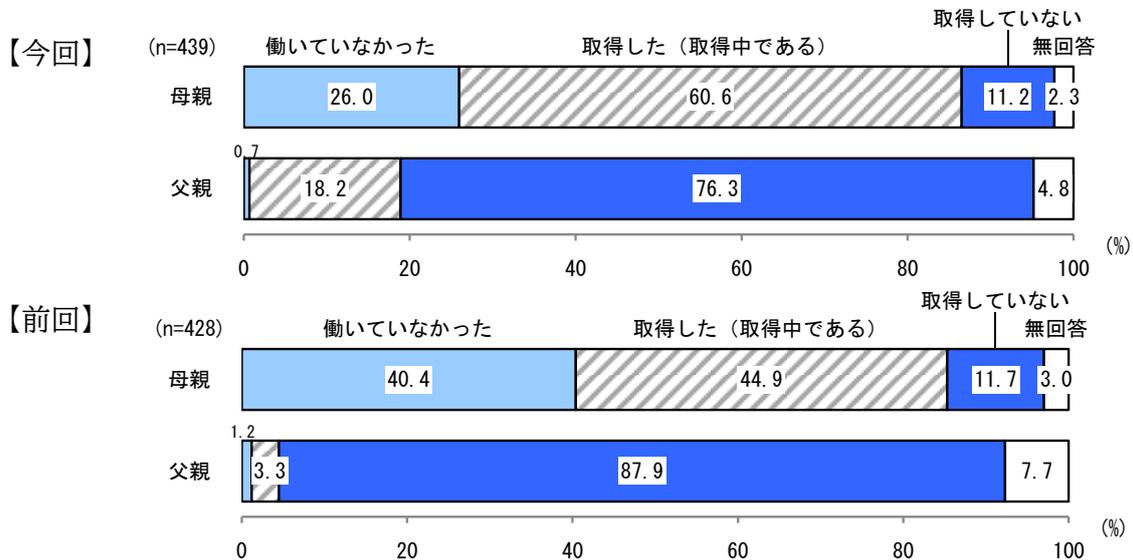
### 【未就学児童保護者】

### 【小学生保護者】

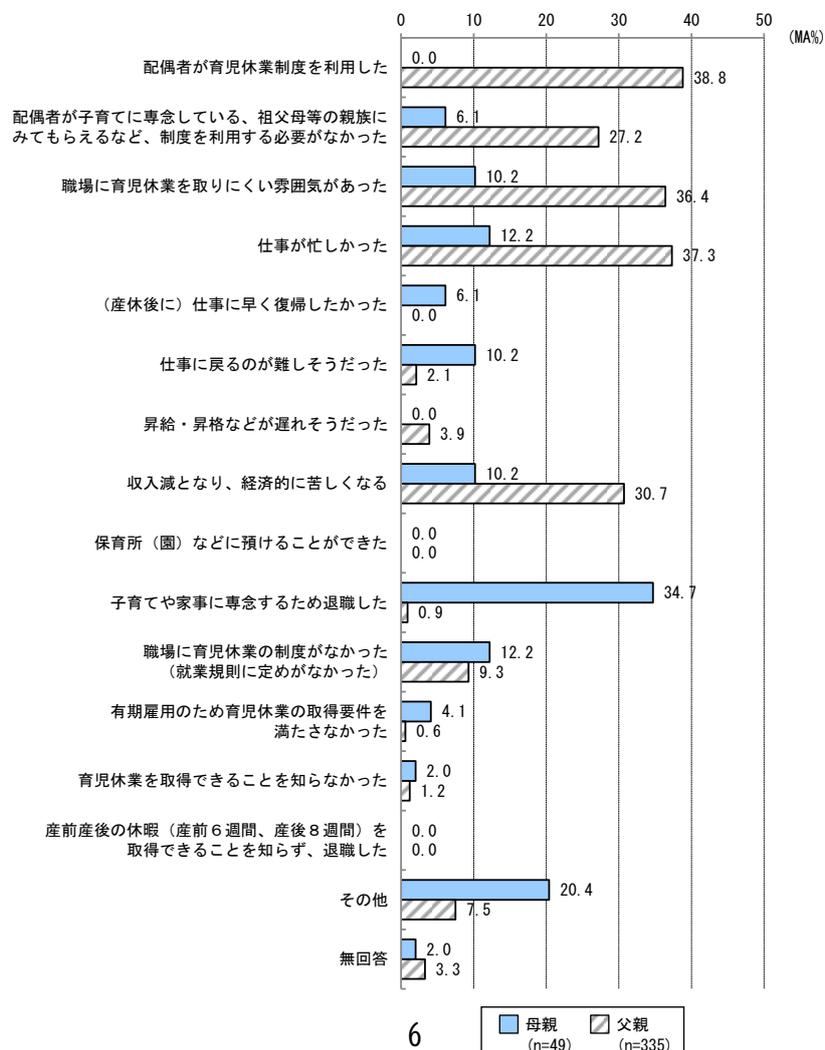


## 6 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について（未就学児童のみ）

育児休業の取得有無については、「取得した（取得中である）」が母親・父親ともに前回調査と比較すると高くなっており、父親の育児休業の取得が進んでいるものの、取得率は母親が約6割に対して、父親は2割未満と、差がみられます。

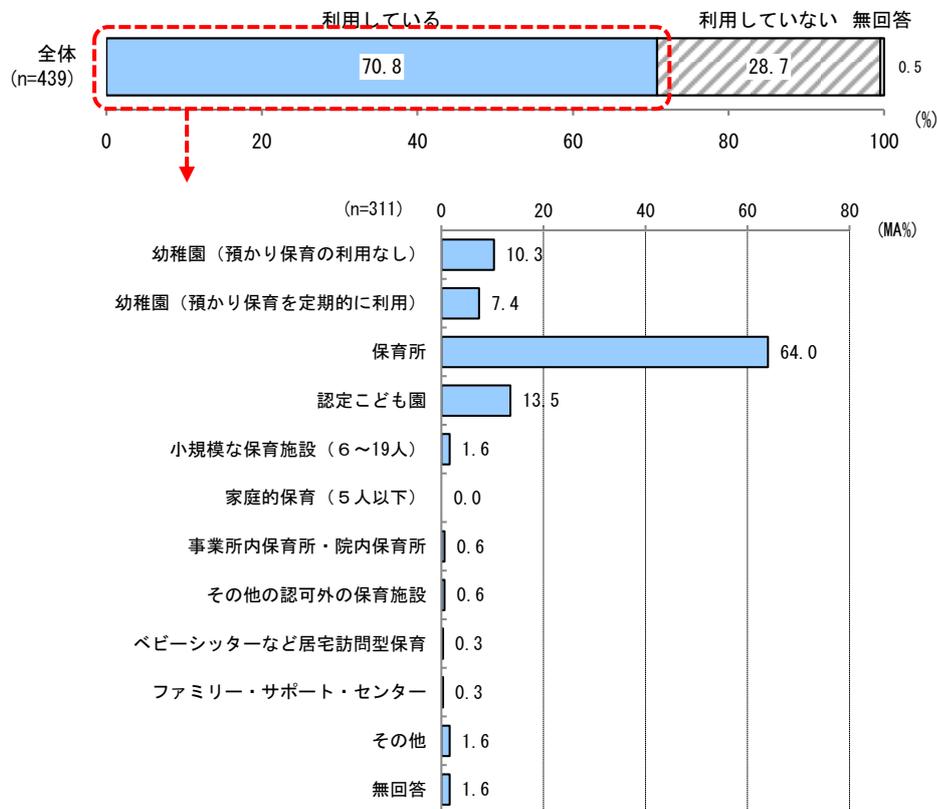


父親が取得していない理由では、「配偶者が育児休業制度を利用した」が最も多くなってきているものの、「仕事が忙しかった」や「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」などが高くなっています。



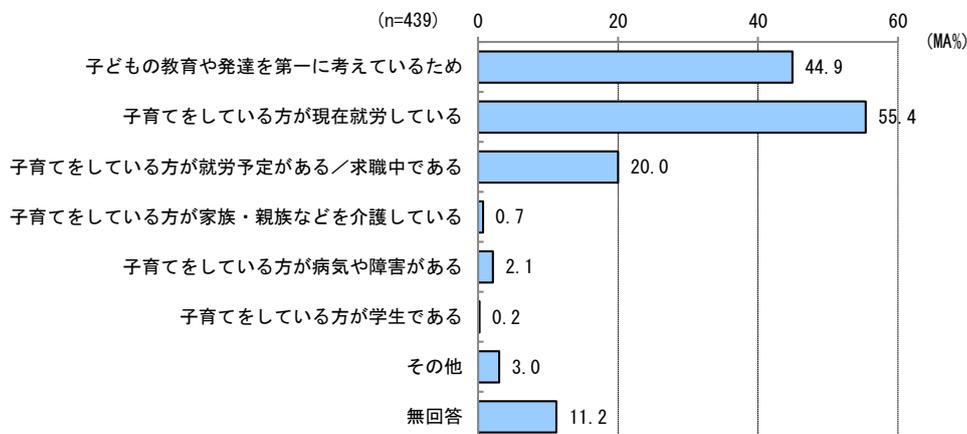
## 7 平日の定期的な教育・保育の利用状況について（未就学児童のみ）

幼稚園や保育所などを現在利用状況については、「利用している」が約7割となっており、そのうち6割以上が「保育所」の利用となっています。



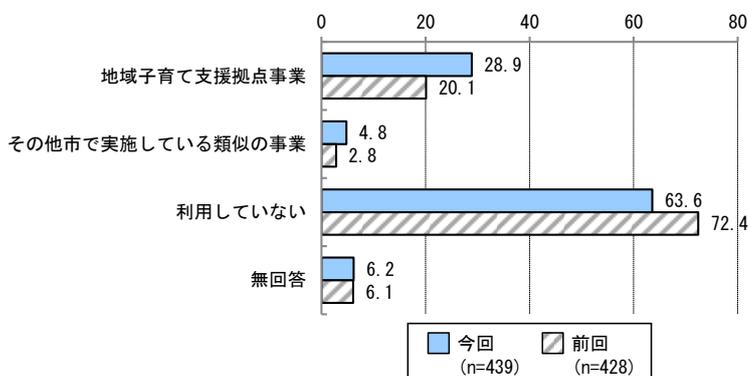
また、平日に定期的に教育・保育を利用したい理由については、「子育てをしている方が現在就労している」が半数を超えて最も多く、次いで「子どもの教育や発達を第一に考えているため」、「子育てをしている方が就労予定がある／求職中である」となっており、就労を理由として教育・保育の利用を望む保護者が多くなっています。

母親の就労率の上昇を踏まえると、今後も教育・保育の利用ニーズは高まっていくことが推測されます。



## 8 地域の子育て支援事業について（未就学児童のみ）

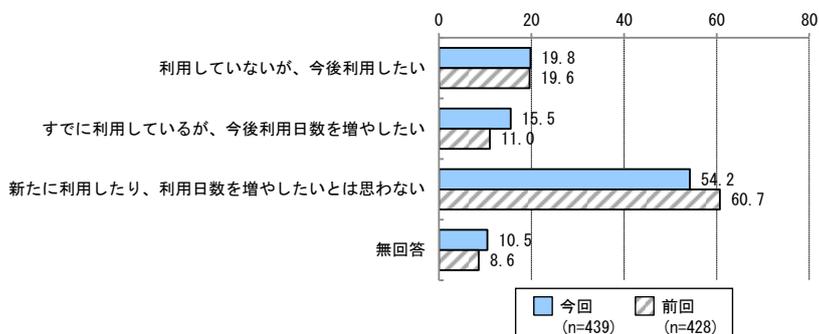
地域の子育て支援事業で利用している事業については、「利用していない」が6割を超えているものの、年齢別にみると、“地域子育て支援拠点事業”については、0歳では約4割、1歳では3割以上の利用がみられます。



(上段：件、下段：MA%)

	n	地域子育て支援拠点事業	似その他市で実施している類	利用していない	無回答	
全体	439 100.0	127 28.9	21 4.8	279 63.6	27 6.2	
子どもの年齢	0歳	129 100.0	52 40.3	8 6.2	70 54.3	6 4.7
	1歳	70 100.0	24 34.3	4 5.7	39 55.7	4 5.7
	2歳	57 100.0	14 24.6	3 5.3	37 64.9	6 10.5
	3歳	64 100.0	14 21.9	1 1.6	49 76.6	1 1.6
	4歳	62 100.0	14 22.6	3 4.8	46 74.2	1 1.6
	5歳	51 100.0	6 11.8	2 3.9	36 70.6	8 15.7

また、今後の利用意向についても、「利用していないが、今後利用したい」が0歳では3割以上、1歳では2割以上となっており、一定の利用意向がみられます。

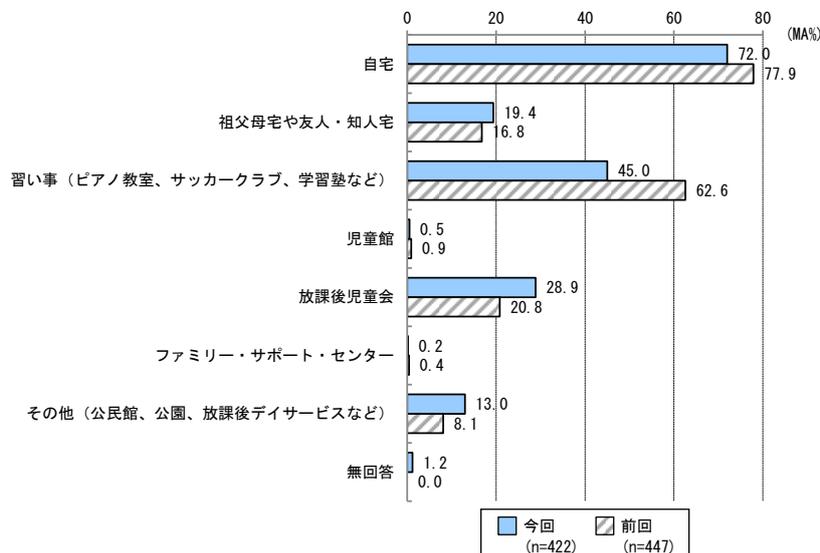


(上段：件、下段：%)

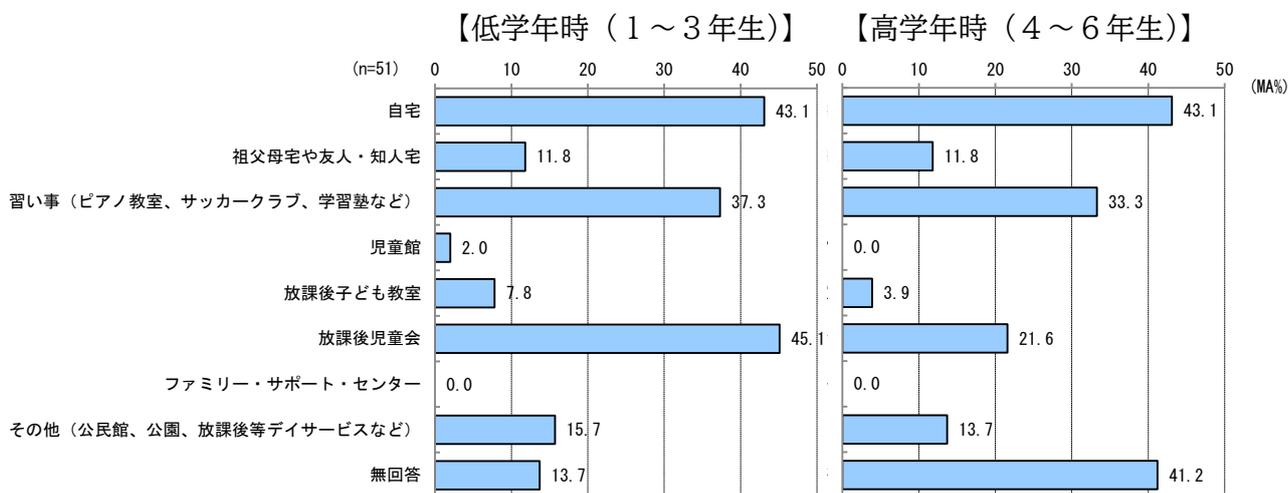
	n	後利用したいが、今	やがす、で、今に後利用日数を増	は用新、日、に、思、わ、な、を、増、用、し、た、り、と、利	無回答	
全体	439 100.0	87 19.8	68 15.5	238 54.2	46 10.5	
子どもの年齢	0歳	129 100.0	43 33.3	32 24.8	43 33.3	11 8.5
	1歳	70 100.0	16 22.9	12 17.1	38 54.3	4 5.7
	2歳	57 100.0	9 15.8	6 10.5	33 57.9	9 15.8
	3歳	64 100.0	7 10.9	6 9.4	46 71.9	5 7.8
	4歳	62 100.0	6 9.7	9 14.5	44 71.0	3 4.8
	5歳	51 100.0	6 11.8	2 3.9	32 62.7	11 21.6

## 9 放課後児童会について

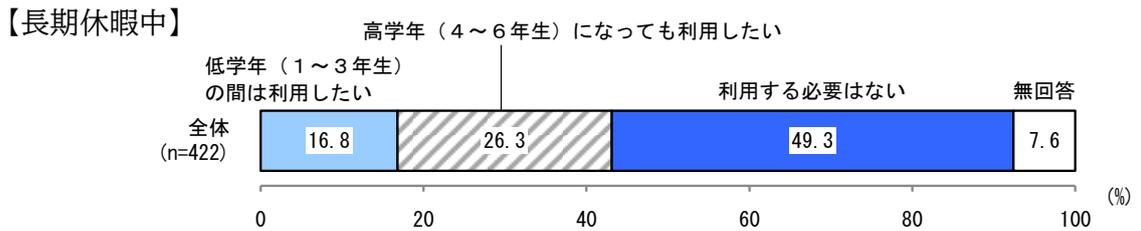
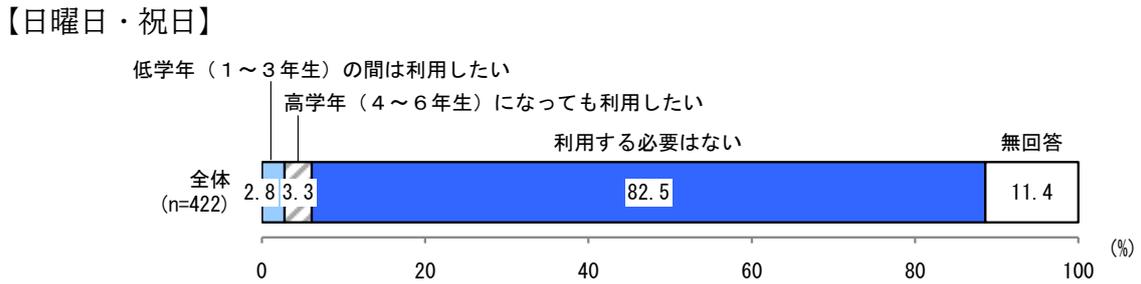
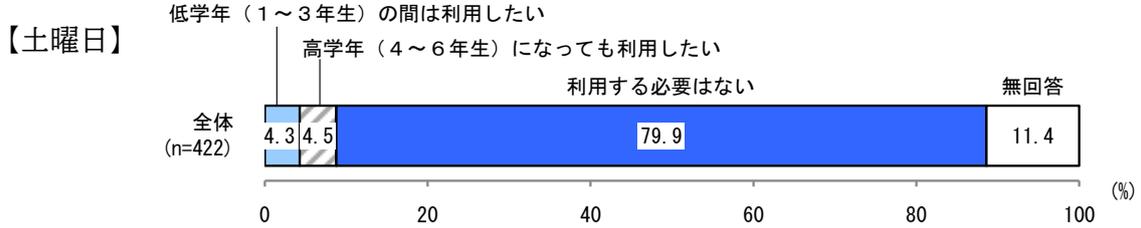
小学生が放課後の時間を過ごしている場所については、「自宅」が7割を超えて最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」となっており、「放課後児童会」は3割程度となっているものの、前回調査と比較すると8.1ポイント高くなっています。



未就学児童保護者の、子どもが小学校に入学した後の放課後を過ごさせたい場所をみると、「放課後児童会」が低学年時では4割以上、高学年時では2割以上と高く、利用ニーズは高くなっています。



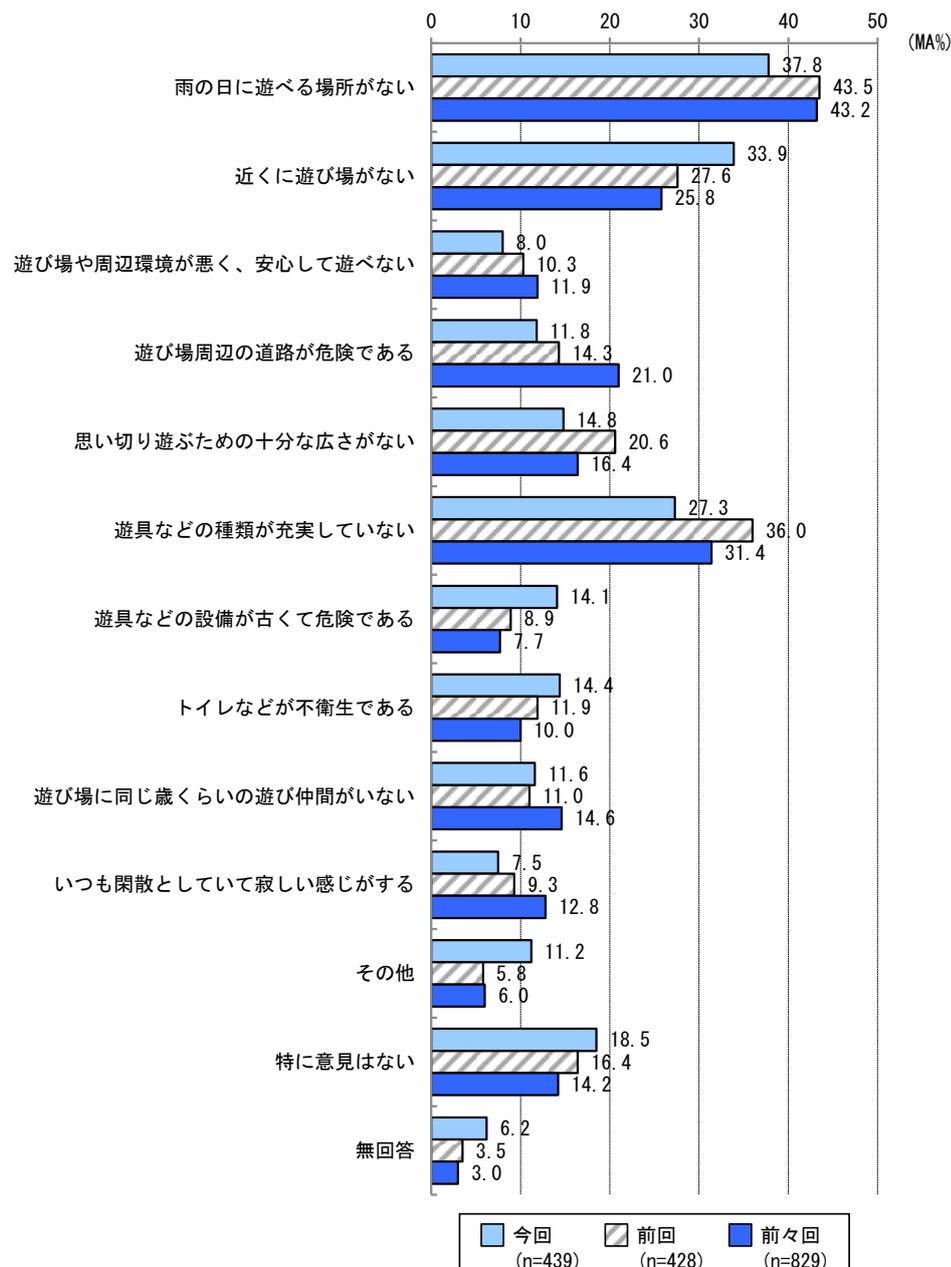
また、小学生保護者の、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の放課後児童会の利用希望をみると、土曜日及び日曜日・祝日では「利用する必要はない」が8割程度を占めているのに対し、長期休暇中では「低学年（1～3年生）の間は利用したい」と「高学年（4～6年生）になっても利用したい」を合わせた『利用したい』が4割以上を占めています。



## 10 あそびばで困ること・困ったこと（未就学児童のみ）

あそびばで困ること・困ったことについては、「雨の日に遊べる場所がない」が4割近くを占めて最も多く、次いで「近くに遊び場がない」、「遊具などの種類が充実していない」となっています。

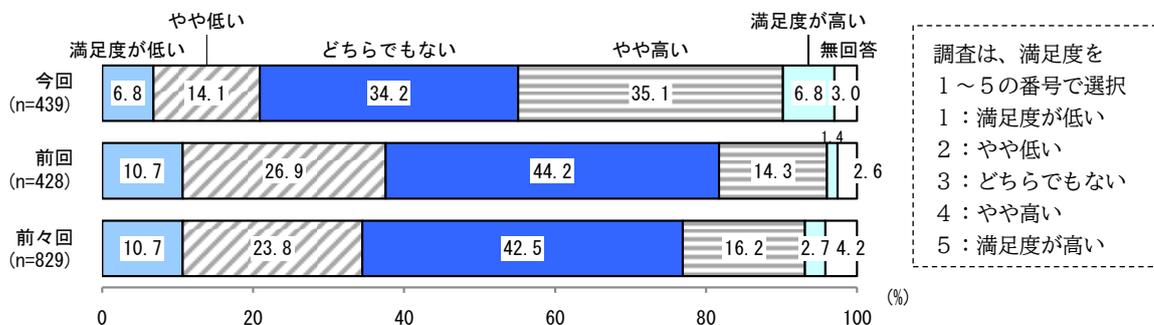
前回調査、前々回調査と比較すると、「近くに遊び場がない」、「遊具などの設備が古くて危険である」、「トイレなどが不衛生である」は調査を重ねるにつれ、割合が高くなっています。



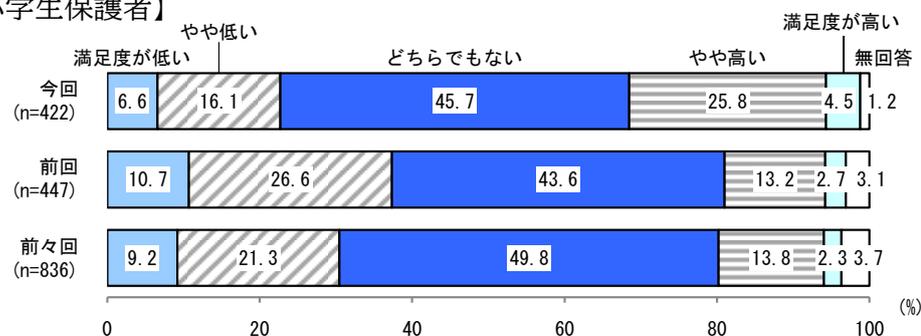
## 11 地域における子育ての環境や支援への満足度

子育ての環境や支援への満足度については、「満足度が高い」と「やや高い」を合わせた『高い』が、前回調査、前々回調査と比較すると高くなっています。

### 【未就学児童保護者】



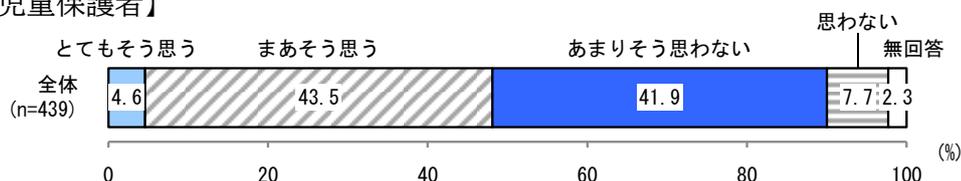
### 【小学生保護者】



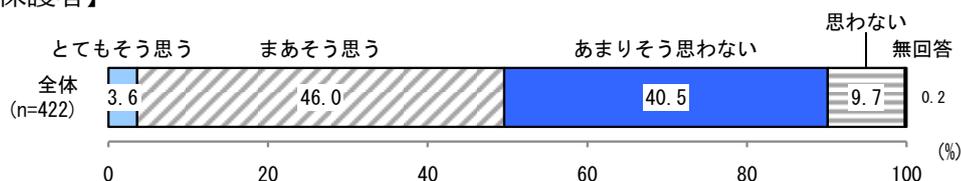
## 12 「保護者の子育てが地域で支えられている」と思えるか

「保護者の子育てが地域で支えられている」と思うかについては、未就学児童保護者・小学生保護者ともに、「とてもそう思う」と「まあそう思う」をあわせた『そう思う』は半数程度となっているものの、「あまりそう思わない」と「思わない」をあわせた『そう思わない』が『そう思う』をやや上回っています。

### 【未就学児童保護者】



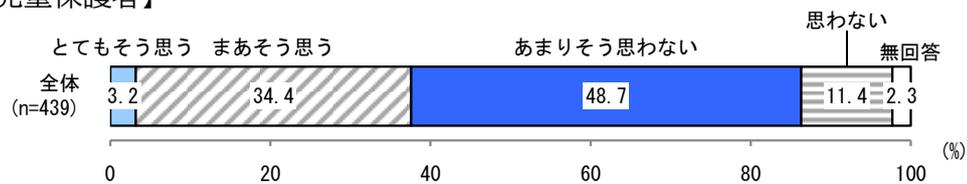
### 【小学生保護者】



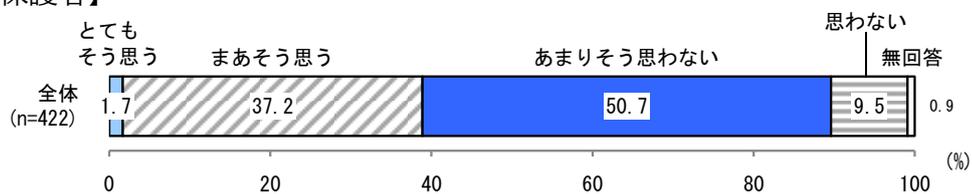
### 13 「保護者が、こどもの基本的な生活習慣や自立心等を育む教育を家庭で行うための支援がされている」と思えるか

「保護者が、こどもの基本的な生活習慣や自立心等を育む教育を家庭で行うための支援がされている」と思うかについては、未就学児童保護者・小学生保護者ともに、「あまりそう思わない」と「思わない」をあわせた『そう思わない』が6割程度となっています。

#### 【未就学児童保護者】



#### 【小学生保護者】



## 14 望ましい子育て支援施策

子育て支援施策に望むことについては、未就学児童保護者・小学生保護者ともに、「子育てにおける経済的負担の軽減」が最も高く、次いで「仕事と家庭の両立支援と働き方の見直しの促進」が高くなっています。また、ともに前回調査と比べても高くなっています。

